イチローが現役引退「大変幸せ」　28年で4,367安打

大リーグ・マリナーズのイチロー外野手（45）＝本名鈴木一朗＝が、現役を引退することを3月21日、表明した。この日、東京ドームで行われたアスレチックスとの開幕２戦目に９番右翼で先発出場し、4 打数無安打。八回裏の守備についた直後に交代した。試合後に記者会見を開き、「きょうのゲームを最後に現役生活に終止符を打ち、引退することとなりました。最後にこのユニホームを着て、この日を迎えられたことを大変幸せに思います」と語った。

日米の28年間で積み上げた安打は4,367本。引退の決断については、「後悔などあろうはずがありません。結果を残すために、人よりがんばったとは言えない。でも自分なりにがんばってきたとは言える」と言い切った。

母国のファンの大歓声の中で最後の試合を終えた印象を「日本の方は表現することは苦手という印象があったんですけど、（きょうで）完全に覆りましたね」と、振り返った。

イチローは昨年3月に6季ぶりにマリナーズに復帰した。だが、結果を残せずに5月に会長付特別補佐に就任。15試合に出場しただけでプレーをやめていた。大リーグ19年目の今季はマイナー契約を結び、2月のキャンプに招待選手として参加。状態が上がらず、実戦で24打席連続無安打のままシーズンに突入。開幕２連戦では、計5打数無安打だった。

イチローは1991年秋のドラフト4位で愛知・愛工大名電高からオリックスに入団。94年に年間最多（当時）となる210安打を放った。1月に阪神大震災が発生した95年は「がんばろうＫＯＢＥ」を合言葉にリーグ優勝、96年は日本一に貢献した。94年から00年まで、史上初めて7年連続で首位打者になった。

00年オフにポスティングシステムを利用して大リーグ・マリナーズに移籍し、12年途中からヤンキース、15年からマーリンズでプレーした。04年に大リーグの年間安打記録を84年ぶりに更新し、262本とした。09年には大リーグ史上初の9年連続200安打をマーク、10年連続まで伸ばした。16年6月、日米通算安打数を4,257とし、参考記録ながらピート・ローズの持つ大リーグ最多4,256安打を抜き、同8月には大リーグ史上30人目、日本選手では初となる通算3千安打を達成した。　3/22「朝日新聞」

《 プロ野球通算成績 》　951試合、打率3割5分3厘、1,278安打、118本塁打、529打点、199盗塁。大リーグの通算は2,653試合、打率3割1分1厘、3,089安打、117本塁打、780打点、509盗塁。